

仙台高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	プロジェクト実習Ⅰ（構造）	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築デザインコース			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	小林 仁,坂口 大洋,小地沢 将之,藤田 智己,塚田 由佳里						
到達目標							
具体的なプロジェクトをベースとし、建築デザインに必要な創造性及び協働性を身につける。 建築デザインに必要な情報リテラシーを身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	デザインコンペティションのグループリーダーができる。			デザインコンペティションに参加できる。		デザインコンペティションに参加できない。	
評価項目2	情報リテラシーがわかり、プログラミングができる。			情報リテラシーがわかる。		情報リテラシーがわからない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 3. 建築デザインの実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。							
教育方法等							
概要	デザインコンペティションは、様々な空間や建築のデザイン案を広く一般から募るものである。デザインコンペティションに参加することは建築デザインを学ぶ近道ともえよう。授業では、コンペティション形式の課題に取り組み、基礎的な知識を得た上で、外部団体が主催するデザインコンペティション（高専デザインコンペティション、高校生対象のデザインコンペティションなど）への参加を目指す。情報化社会においては情報機器の扱いについてのマナー、ルール、基礎知識を理解することが必要である。プロジェクトに参加するために必要な情報リテラシーを学ぶ。						
授業の進め方・方法	①ブレ高専デザインコンペティション（内部） ②情報リテラシーの学習、構造、環境解析体験 ③外部団体主催のデザインコンペティション参加 予習：毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を 考えて整理しておくこと。 復習：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	ブレ高専デザインコンペティション（内部）				
		3週	ブレ高専デザインコンペティション（内部）				
		4週	ブレ高専デザインコンペティション（内部）				
		5週	ブレ高専デザインコンペティション（内部）				
		6週	ブレ高専デザインコンペティション（内部）				
		7週	情報リテラシーの学習、構造、環境解析体験				
		8週	情報リテラシーの学習、構造、環境解析体験				
	2ndQ	9週	情報リテラシーの学習、構造、環境解析体験				
		10週	情報リテラシーの学習、構造、環境解析体験				
		11週	外部団体主催のデザインコンペティション参加				
		12週	外部団体主催のデザインコンペティション参加				
		13週	外部団体主催のデザインコンペティション参加				
		14週	外部団体主催のデザインコンペティション参加				
		15週	外部団体主催のデザインコンペティション参加				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3		
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3		
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3		
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3		
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しうることを知っている。	3		
				与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。	3		
				任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実装できる。	3		
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3		
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3		

				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	
評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	0	0	0	30	70	100
基礎的能力	0	0	0	30	0	30
専門的能力	0	0	0	0	70	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0